

2017年12月10日

雨よけトマト栽培におけるネバリン施用試験結果

日本肥糧株式会社

1. 目的 雨よけトマト栽培におけるネバリンの施用効果を確認する。
2. 場所 群馬県利根郡みなかみ町
3. 品目 雨よけトマト
4. 品種 りんか、台木:がんばん根
5. 定植日 2017年5月19日～20日
6. 調査日 2017年11月9日
7. 施用資材 試験区:慣行施肥 + **ネバリン** 100kg/10a
無施用区:慣行施肥
8. 調査項目 総根長(直径0.2mm～2.0mm)、根部乾物重量

9. 調査結果

1)栽培終了時の根の調査結果

(総根長 m/株)	①	②	③	平均値
試験区	135.5	67.2	91.1	97.9
無施用区	39.0	62.6	46.8	49.5

(根部乾物重 g/株)	①	②	③	平均値
試験区	15.0	8.2	13.5	12.2
無施用区	5.0	5.8	6.8	5.9

10. 試験区および無施用区圃場写真



図1. 試験区 (2017.06.13)



図2. 無施用区 (2017.06.13)



図3. 試験区 (2017.06.13)



図4. 無施用区 (2017.06.13)



図5. 試験区 (2017.08.17)



図6. 無施用区 (2017.08.17)



図7. 試験区 (2017.09.22)



図8. 無施用区 (2017.09.22)



図9. 栽培終了時両区の根の状態 (2017.11.10)
(左:試験区(ネバリン施用)、右:無施用区)

11. 結果および考察

- ①試験区と無施用区で達観での生育確認および栽培終了後に、総根長と根部乾物重について調査及び分析を行った。
- ②試験区では、生育初期に無施用区に比べ生育が少し旺盛であった。
また、生育中期～後期にかけては、草勢が維持されていた。
- ③試験区では、総根長、根部乾物重ともに無施用区に比べ増加していた。
- ④ネバリンの水溶化腐植の効果により、根の発根促進やキレート効果による養分の吸収が高まり、地上部が充実し、草勢が後半まで維持されていたことが考えられる。

以上の結果より、雨よけトマト栽培におけるネバリンの施用は、定植後の根張り促進や養分吸収を高めて地上部の生育および品質向上に繋がり、雨よけトマト栽培に適していると考えられる。